

会員企業探訪

ガット張りのプロシヨップ ユーザーの信頼を集める理由

有限会社 田中商事 代表取締役 阿部 葉子



タナカスポーツは松江駅の東にテニス・バドミントンの専門店として店舗を構える



お店の中央にはガット張りの機械が4台ラケットやシューズなどの用具が壁を彩る



するとガットを通す手技に見入ってしまうがテニスラケットの張り替えには20分ほど掛かる



オンによる除菌「エアバスター」を導入通常の空気清浄機と比べかなりコンパクト



UVライトによる除菌器「ポケットドクター」グリップやシューズなど用途に応じて除菌を行う

経営理念

よこごびを創り、よこごびを分かち合い地域社会に必要とされる存在であることを目指す

JR松江駅東高架下からすぐのところ

に立地する「タナカスポーツ」。店内には数多くのテニスやバドミントンのラケット、用品、ウェアやシューズがずらりと並び、中央にはラケットのガットを張る専用のマシンが4台据えられている。県内唯一のテニス・バドミントン専門店であり、愛好者や学生たちから高い信頼を得ている店だ。経営する有限会社田中商事は昭和57年の創業で、当初は薬局経営や宝くじ販売、飲食業、物販など手広く事業を営んでいたが、平成になり現地に自社ビルを構えてからは店舗とテニスコートの経営、自社ビルアパート経営として新たなスタートをきったという経緯を持つ。

阿部さんはパート従業員として前社長のもとで延べ10年余り勤務し、その仕事ぶりから店長職も任されるようになっていたが、4年前に前社長の病気が発覚。後継者もなく闘病のため廃業しようかというとき、店を閉めてはいけないと自ら手を挙げて二代目社長となった。店のガット張りの技術を頼りにしている中学生や高校生のためにも思ったゆえの決断だった。

「明日が試合というときの練習でガットが切れ、張り替えてほしいとすべりこむように店にやって来る子もいます。翌朝5時の出発に間に合うようにと頼まれたりもします。そうした声に応えるのが当店の仕事ですから」と阿部さんは言う。さらに店の営業時間

入荷したと掲載するとすぐに注文や問い合わせが全国から次々と届き、あっという間に完売。商品発送などの対応に一日中追われた。また店内風景の画面にたまたま映っていたTシャツが欲しいと福井県から注文が入ったりもしたという。

「ネットでは全国どこからでも注文が入ってきます。通販とはこういうことかと実感しました。コロナ禍で店を休業したときに通販でもと安易に考えていたのですが、こういう状況が続けばガット張りに手が回らなくなってしまう。大きな効果があることはわかったのですが、それをいかに上手く使うかが問題です」。一方でSNSで上げたことを全国の人が見ていて、反応も早いことに少し怖さも感じたという。今は通販で利益を上げることより、店にガットの張り換えを頼みに来る子たちを大事にしたいとの思いが強い。量販店のようなポイント制での顧客囲い込みはせず、安価で学生にも求めやすい価格設定を行っているのも頷ける。ガット張り替え技術の提供とメンテナンス、アフターケア。ユーザーを大事にする姿勢が高い信頼を集める理由だ。

またコロナ対応型持続化補助金で、古志原にある直営テニスコートのベンチ撤去（接触感染防止と密接防止のため）を行い、店舗にはウイルス除菌装置エアバスターを導入した。テニスコートの運営では、医療関係者の協力を得

外でも対応できるよう「ラケットポスト」を設置し、通勤前や部活帰りにラケットを預かりガット張りを受け付けることもしている。タナカスポーツでは阿部さんも含めたスタッフやメンバー指定の「張人」「ストリンガー」というガット張りのスペシャリスト認定を持つ。かつては自分で手張りしていたガットも、今はマシンで張る時代。個々のプレースタイルに合わせて設定したデータで正確に張り替え、長時間テンションを保つこともできる。物販と並んで細やかな対応のガット張りの技術サービス提供が経営を支えているという。

新しいスマホ対応ホームページ その効果と即効性を活かすには

タナカスポーツでは小規模事業者持続化補助金を使ってスマホ対応のホームページをつくった。それまでのものはフォームが古く、時代に合わなくなっていたための刷新だった。制作には4か月近くかかったが、ラケットの試打をする様子やガット張りの技術を紹介する動画など納得のいくものに仕上がったと阿部さんはよろこぶ。

「今の時代、スマホは動画が中心で、静止画や文字などはスルーされがちです。他店もやっているなら、うちでもやらなければと動画に挑戦したわけですが、よく見てもらえるようになって、その反応にも驚いています」という。例えば大手スポーツメーカーのマスクが

てウィズコロナ下でのコート使用のルールを作成。これを守ってもらうことで感染防止につながっているという。

道具のプロがアドバイス

タナカスポーツは県硬式テニス協会18歳以下の大会のスポンサーでもある。大会の際には試打用ラケットを持ち込み学生らに使ってもらう。

「見ていると身体に合わないラケットを使っている子もいます。道具が合わないとなかなか上手くなれないし、ケガにもつながります。そんな子に合うラケットを勧めると、楽しくプレーができうれしそうです。私たちが道具のプロとしてアドバイスすることで、楽しい、面白いという感覚を持ってもらえれば、それがテニス人口の底上げになる」という。

前社長も生前、安心して社長の座を譲ったのだろう。阿部さんのテニスにかける情熱と子どもたちの成長へのまなざしに爽やかなプロ根性を感じた。



■タナカスポーツ
〒690-0001 島根県松江市東朝日町116-7 YONEビル
TEL0852-24-9266 FAX0852-25-9266
【営業時間】 平日 11:00~19:00
日・祝 11:00~18:00
【定休日】 月曜日【駐車場】 5台
【Web】 https://tanakasports.jp/